

秘書艦

時雨

成人指定
Adult Only

-輪姦凌辱2-



この感情を

この衝動を

誰もがそうであるように。

お

ち

る

んっ…

僕のナカッ…
きもちい…？

はっ

ああっ…
すっぴん…へ…

僕も…もっど…

提督のおちんちん
膣内でびくびく…

もうイキそう
になってる…

気持ちよ…

全然たりない…

もっと
もっと…

激しすぎ…

時雨イチャイソウ？

あっ

それじゃあ…





時雨のイキ顔みながら
俺もイキたいっ…

もうすぐだから…!

ちがっ…

僕まだっ…

まだしてほしにの…!!

たらないっ…

こんなじゃ
まだイケないよっ…!

ストゥ

ストゥ
ストゥ

ストゥ

ストゥ



なかにっ…

なかつ…

…えっ?



はっ

あ
あっ

時雨っ…そろそろっ…!

うんっ

いいよ…



なかつ…

なかだしだったら
イケるかもっ…

ふっ
あ
あ



おら早く見せろよ…
自分でスカートまくって

……っ！

おいおい何も
はいてねーじゃん…

まんこ丸出して仕事とか
時雨ちゃん下淫乱だねえ

これは君たちの
命令で仕方なくっ…

へえ…じゃあ
なんで濡れてんだ？

……っ！

てかもう
ぐちよぐちよだし

脅されてなきや
誰がこんな…っ！

さつきまで提督として
だから感覚が残ってるだけ…っ

俺らにこうされるの
期待してたんじゃねーの？

おいさつさとちんぽ
ブチ込んじまおうぜ…

まあ待って…
一回イカせてからの方が
具合がよくなんだよコイツは

僕が提督以外に
触られて感じるわけっ…！

感じる…わけっ…！



こーやってクリちゃん
直接ぐりぐりっど……

もーすぐイクぜ〜
ほらほら

でもっ……なんで……っ
乱暴に触られると……っ！

提督との時と
全然違っ……

ほらもうイッた

ははっ時雨ちゃん
ちよろすぎ〜

なんで僕っ……
こんなに……っ！

きもち……ぐへっ……

僕…おかしいよ…

うっわ…まんこ
ぬれぬれでエロすぎっ…
いつ見てもマジっ…!

脅されてるからって
こんなやつらに…っ

おい早く入れちまえよ!
俺待ってんだぞ!

へいへい
わかったよっ…

一気に奥まで…っ!

あぐっ…

時雨ちゃんのまんこも
モノ欲しそうにひくついてっし

あっ…

おおっ…あつたけ…
ちんぽとろけそ…!





つか時雨ちゃん
またイってね?

あゝ?俺のちんぽ
がよすぎんだよ...



自分からケツ浮かせて
ちんぽおねだりかよ...っ
心配しなくても
たっぷり汚してやつから...!

あっ
あ

汚...しっ...



提督ダシナのより
気持ちいいだろっ?

ああっ?

奥に届いてっ...
すこっ...これっ...

きもち...らっ...



んじやちんこ好きの時雨
ちゃんにもう一本...っ



へへっ...
俺の方がいいってよ

提督サンかわいそ...
ちんこに弱すぎだろコイツ

あ...れ...?

今...僕なんて...?

あたま真っ白で
わけわかんなく...っ



おらもつと嬉しそうに
しゃぶれよっ…

教えた通りやれつっの…!

息…っ
くるしっ…!

喉おちんちんで
ふさがれてっ…!

ばーか息できねーんだよ
殺す気かよ



嫌なはずなのに…
なんて僕…こんなにつ…

おおっ絞まるっ…!
膣イキしてんのか…!

膣肉が吸いついて…
これ…やべっ…!



へっわりいわりい

くるしっのこ…



おら!まんこ緩めんよ!

はっはっ
ごめんなひやっ…



やっぱもつかいっ…!
あ……のどまんこいいわ



あゝ出るっ…
ナカに出さぞ…!

またっ…何も
考えられなくっ…

なに…もっ…

イクっ…!



あゝマジやば…
めっちゃ出たわ…

っーか喉奥にちんこ
突っ込まれてイクとか
どんだけDMだよ

へっ次は俺のちんこで
イカせてやつから…!

まっ

まっ…て

まだっ

むりい…っ

いったばっかりでっ…
今…挿れられたら…っ!

腫イキしたての
まんこいただきと…!

う

あ

あ

あ

だめっ…

だ

あ

あ

あ

お…お…

ああああ…だめっ
だめだめだめえっ…!

くひっ…

イッ…

おっほ…!今度は
挿れただけでイってるぜ

ほんと俺達に犯されるの嬉しいんじゃねえの？

キッ
キッなわけっ…

そんなわけねーって？

僕は…仕方なく…

しかたな…あつ

ちがうっ…
ちがう…よね…？

僕は…僕には提督が…

こんなにまんこぎゆうぎゆうに絞めつけといてよく言うぜ

膣肉が絡みついてちんこ離してくれねーし…！



脅されてるとか
タテマエだよ…

ほんとにはやっていると提督サン
にも見てもらいたくないんじゃない？

えっ…

提督…督に…？

提督につ…

他の男に
犯されてる僕を…？

うおっ急にちんぽ吸い上げ
られるみてーに墮うねって…！

見られながら犯されるのっ…？
提督につ…見られながら…っ

凶星かよ…やつば時雨ちゃん
真性のDMの変態だわ

だったらよ…っ！



見てもらうか…
しらねー男に犯されてっ…!!

僕…今こんな
表情かおしてるんだろ…

このメスイキしまくってる
だらしねートロけ顔っ…!!

でも…提督としての
時とは違うのはわかる…

こんなクソピッチが嫁とか
提督サンも面白い趣味だよな

こんな僕を…っ

こんな表情かおっ…提督が
見たらどう思うかな…

おっ足絡めて自分から
腰押し付けてっ…



あーくそつ
そろそろイク…っ!



でも…っ
そう思えば思うほど…

なあ…とくに出して欲しい?



あ…と…と…



これ以上はっ…
できちゃ…っ

ああっ?
どこだって?



やめちまうぞ?
んん?



あくなんだってえ?

だめっ

やめちや…
だめっ…



なんでこんなにつ





あー…暑っちー…
汗かいちまった

なんか冷てーもんでも
飲みに行くか

おーちと疲れたしな

そっか…僕…
もうわかってたんだ…



提督がこんな僕を
知ったらどう思うかって

秘密にしなきゃって…
そう思ってたけど



こんな乱暴に犯されながら感じてる僕を…

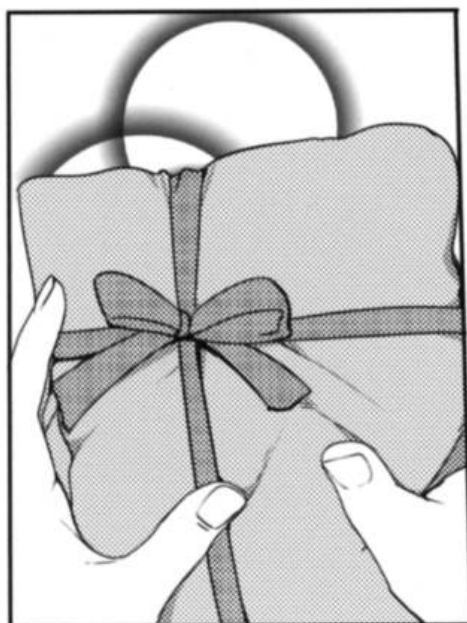
ほんとは…
ほんとの僕を…っ



汚される快感に溺れる僕の顔を…！

提督につ…
ほんとの僕を…っ！


果てのない
暗い、くらい底におちてゆく





時雨は俺が幸せにしてやんなくちや

君の
声が
ひびく、
やわらかな
水の底に。



こんにちは、藤崎ひかりです。
この本を手にとって下さってありがとうございます。
時雨ちゃん凌辱本の続きと言う事で、またもヒドイめにあわせてしまいました。

この時雨ちゃんは、まっすぐで、愛情深くて、純真で、
ケッコン指輪をくれた、鈍感だけど真面目な提督を本当に大好きで。

だからこそ、劣情と罪悪感と後悔を持ちながらも、
提督の側で、これからも幸せなフリをし続けるでしょう。
海の底よりも深い場所で、どうしようもない自分を責め続けながら。

そんな時雨ちゃんが大好きなので、気持ちもカラダも、
もっとドン底に墮ちて行くようなお話をまた描きたいと思いますので、
よろしければまたお付き合い下さいませ。

2017/04/30

発行：Frenchletter

藤崎ひかり <http://puchisana.p1.weblife.me/>

pixiv：81970

Twitter：pedori3

印刷：上野印刷

※18歳未満の方の購読はご遠慮下さい



あぁのナカッ...
きもちい...?
ほん...
ほんのナカッ...
きもちい...?
ほん...
ほんのナカッ...
きもちい...?
ほん...

本当の僕を知りたら...
提督はどんな顔するのかなー





僕どぅしちゃったのかな…

提督が気持ちよくなってくれて
うれしいはずなのに…

僕は…ぜんぜん
物足りないって…



おっききたきた…
時雨ちゃん
待ってたよ

つたく…
おせーぞ



っ…!!

あ…



お仕事熱心なもの
いいけどよお

俺達のことかまわって
くんねーとさあ…

提督サンに俺らとのコト
ばらしちゃってもいいの？

ここなら誰もこねーし
とりあえずささっと…な？

っ…!!

っ…!!